

頭張ろ う東北！うまいもの市

特産品の販売で貢献

富士・富士宮地区労働者福祉協議会主催の「頑張ろ う東北！ うまいもの市」が29、30の両日、ふじさんめっせで開かれている。東日本大震災被災地の酒や米など特産品を販売し、売り上げを義援金として寄付する。開催時間は午前10時から午

後4時30分（最終日は午後4時）まで。津波などで大被害を受けた、今なお復興に向けて努力を続けている東北地方のため、何か役立ちたいとの思いから、支援活動として名産品の数々を仕入れて売り上げに貢献するとともに、すべての収益

を義援金に充てる。

会場には、岩手県大船渡市の菓子「かもめの玉子」、花巻市の金婚・銀婚漬け、仙台の「ずんだもち」や牛タンシチュー、カレー、3大麺の一つである盛岡の冷麺などが並んでいるほか、

米では山形のひとめぼれ、秋田小町を販売。日本酒として宮城産「一ノ蔵」の純米吟醸をはじめ、福島の大七、「奥の松」、山形の「大山」などが人気

を呼んでいる。

障害者福祉施設の「まつぼっくり」は、ごま、アーモンド、ココナツ、マーブルなど9種類の手作りクッキーのほか、色とりどりの綿菓子を販売している。



東北の特産品を販売